

くすやま美紀(樟山みき)活動報告



2017. 6. 8 NO. 204

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319

高円寺地域の小中一貫校計画

異常な学校づくりは直ちにやめよ！



区役所前でスラップ訴訟に抗議する地域住民

開会中の区議会定例会で、日本共産党区議団は、高円寺地域の小中一貫校計画に関する訴訟問題について、区の姿勢を追及しました。

前代未聞のスラップ訴訟

この訴訟問題は、高円寺地域の小中一貫校計画（高円寺中、杉4小、杉8小）に反対し、高円寺中の門前で「巨大校舎反対」等のプラカードを掲げて抗議を行っている近隣住民に対し、工事を請け負った建設業者が「工事妨害」だとして抗議行動の禁止を求め住民を訴えたものです。この訴訟はまぎれもないスラップ訴訟であり、抗議行動を行う住民へのどう喝・弾圧行為にほかなりません。

工事業者が住民を盗撮・監視

驚くべきことに、工事業者は、この訴訟を起す前提で、住民を隠し撮りしていた事実も明らかとなりました。住民が抗議行動を行う前の昨年12月に行われた説明会で、業者は訴えられた住民の様子を撮影していたのです。肖像権やプライバシー権を蹂躪する人権侵害行為です。

加えて、抗議行動する住民を監視するために、学校の門前に監視カメラまで設置していました。住民の抗議で取り外されましたが、業者が住民を監視し、萎縮・威圧する暴挙に出たことは重大問題です。

人権侵害行為を容認

党区議団は、この一連の問題に対する区教委の責任について見解を求めました。区教委は「訴訟も撮影も工事業者が必要があると判断したものと認識している」と答弁。区主催の説明会で、人権侵害行為が行われていたことを問題ないとする区の姿勢は異常極まりないものです。

こうした地域住民との深刻な軋轢を生むような学校づくりは「地域・学校が協働し、ともに支える教育を進める」とした区の方針とも矛盾するものです。

教育長の見解を求めましたが、教育長は答弁に立たず、工事を強行する姿勢を示しました。

住民の住環境、子どもたちの良好な教育環境を脅かす小中一貫校建設は、直ちに中止すべきです。

※スラップ (SLAPP) 訴訟

スラップとは、Strategic Lawsuit Against Public Participation (住民の集団行動に対する戦略的な対抗訴訟) の頭文字をとった言葉。

権力を持った企業や政府等が、権力を持たない弱者や個人に対し、恫喝的、報復的ないやがらせを目的で行われ、通称恫喝訴訟ともいわれている。

憲法・築地・くらし—都民本位の都政を 原田あきら都議候補 連日大奮闘

安倍暴走にストップの審判を！

「加計学園」疑惑や安倍晋三首相の9条改憲発言など、安倍政権による国政の私物化と憲法無視の暴走に対する国民の怒りが沸きあがるなか、東京都議選（6月23日告示・7月2日投票）は安倍政権への審判とともに、都民の暮らしがかかった選挙戦として各党が総力をあげた大激戦となっています。

原田あきら都議候補は、連日街頭に立ち、「都議選は、安倍政権の暴走への最初の審判の場になります。『憲法破壊から世界に誇る9条を守れ』の声を、こぞって原田あきらに託してください」と訴えています。



JR荻窪駅北口ルミネ前での宣伝



吉良よし子参院議員、おさない史子衆院予定候補とともに「共謀罪は廃案に」と訴え

豊洲移転はきつぱり中止を

築地市場の豊洲移転問題では、小池知事が都議会の所信表明で「かつての都知事が市場業者や都民に約束し、都議会が付帯決議をした（豊洲市場の）『無害化』は達成できていない状態」と述べたことは、豊洲移転計画の破たんを認めた重大な言明です。

原田都議候補は、無反省に移転推進にしがみつく自民、公明や、選挙公約でダンマリ態度をとる「都民ファーストの会」を批判。豊洲移転を中止させ、世界に誇る築地市場を未来に引き継ぐ願いを共産党に託してほしいと呼びかけています。

にぎやかに 「女性のつとめ」

6月3日、原田あきら都議候補を囲んで「女性のつとめ」が開かれました。

望月康子都委員会副委員長が、都議選をめぐる情勢を報告し、原田候補が決意表明。勝手連の方々も歌を披露するなど、勝利に向けて熱気あふれる集いとなりました。

